

シフルトリン乳剤 バイスロイド乳剤	取扱メーカー： バイエル* 原体メーカー： バイエル
成分： シフルトリン〔ピレスロイド系 PRTR・2種〕……………5.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………13.1% エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………17.7%	性状： 淡黄色澄明液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 経口的、経皮的に作用し、特に食葉性害虫には効果が高く、1回の散布で長期間の抑制効果がある。
- 低薬量で、優れた殺虫力を有し、また、ピレスロイド剤の特長である速効的なノックダウン作用を備えている。
- 広汎な殺虫スペクトラムがあり、同時防除に優れている。
- 有効成分を水溶性にし、希釈液がほとんど濁らないようにした、作物に合わせた製剤である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 殺虫スペクトラムが広いので、同時に発生している数種の害虫の併殺をねらって散布すると効果的である。
- 残効性と忌避性を生かした害虫の発生初期に散布すると効果的である。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ボルドー液との混用はさける。
- 茶での散布では、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- 共通注意事項8、適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに注意する。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 共通注意事項7、ミツバチに対する注意事項を参照。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びシフルトリンを 含む農薬の総使用回数	使用方法	
キャベツ	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ	1000 ～ 2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	4 回以内	散布	
はくさい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			21 日前まで	3 回以内		
にんじん	ヨトウムシ アブラムシ類	2000 倍		3 日前まで	4 回以内		
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			7 日前まで			
ごぼう	アブラムシ類			前日まで			
たまねぎ	ネギアザミウマ			7 日前まで	2 回以内		
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類						
えだまめ	マメシクイガ	1000 ～ 2000 倍		14 日前まで	3 回以内		
	カメムシ類	1000 倍					
豆類 (種実, 但し, だいず, あずき, いんげんまめを 除く)	アブラムシ類	2000 倍		7 日前まで			
いんげんまめ	アブラムシ類 インゲンマメゾウムシ						
だいず	マメシクイガ	1000 ～ 2000 倍					
	カメムシ類	1000 倍					
	アブラムシ類						
あずき	アブラムシ類 アズキノメイガ	2000 倍					
小麦			60 ～ 150 ℓ		14 日前まで		4 回以内
	アブラムシ類						
ばれいしょ		2000 ～ 3000 倍	100 ～ 300 ℓ				
かんしょ	イモコガ ナカジロシタバ	1000 ～ 2000 倍					
てんさい	カメノコハムシ	2000 倍	25 ℓ				
	ヨトウムシ	500 倍	100 ～ 300 ℓ				
		2000 ～ 3000 倍	25 ℓ				
		500 倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャノキイロアザミウマ チャハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ	1000 ～ 2000 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 7 日前まで	1 回		